

報道機関各位

「やまがたチェリサポ職員制度」の実施状況について

さくらんぼ収穫時期の人手不足に対応するため、県職員がさくらんぼ収穫作業に従事できるよう、6月1日から7月31日に実施した「やまがたチェリサポ職員制度」の実績とアンケート結果がまとまりましたので、お知らせします。

なお、詳細につきましては、別紙を御覧ください。

1 作業従事の様況

- 営利企業従事許可された職員は50人となり、うち実際に作業に従事した職員は、許可された職員の8割に相当する40人。
- 許可者のうち作業実績のない10人の職員の主な理由は、「さくらんぼの収穫時期が早まったため予定と合わなかった」など。
- 実際に作業を行った作業従事日数は、延べ119日。
- 生育が早まり収穫期間が短くなったため、申請よりも作業日数が少なくなり、1～2日の従事が多い結果となった。

2 営利企業従事許可を受けた50人へのアンケート結果（42人回答）

- 回答者の93%が今後もチェリサポ制度を利用して働くことを希望
- チェリサポ制度に満足しているという回答は86%

3 職員を雇用した農業者からの声

- 「労働力不足の中で、県職員の副業はありがたい」「副業が他の自治体や民間にも広がり、手伝ってくれる人が増えることを期待している」など。

4 今後の対応

- 職員、雇用した農業者双方から好評であったことから、今年度の課題を評価・検証し、より良い制度に改善を図りながら、来年度も継続していく。

問合せ先

農業経営・所得向上推進課

課長補佐 高橋 哲史

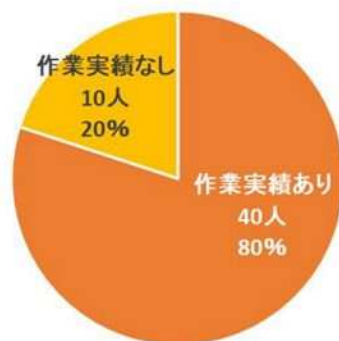
電話 023-630-2286

報道監 農林水産部次長 森谷 健

電話 023-630-2411

「やまがたチェリサポ職員制度」の実施状況について

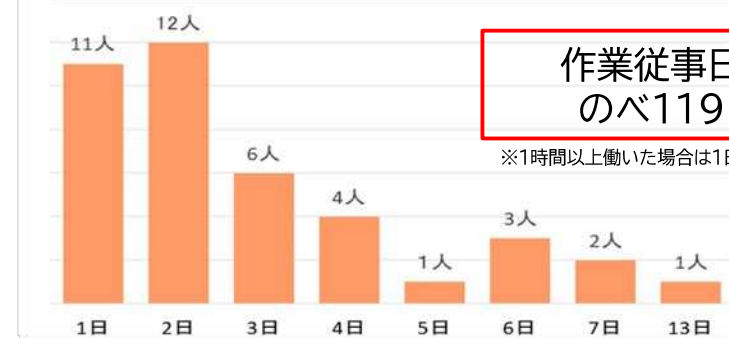
1 営利企業従事許可された者のうち、作業に従事した職員数



作業従事者
40人

- 許可された50人のうち、8割の40人が実際に作業従事
- 作業実績のない職員の理由は、「さくらんぼの収穫期が早まったため予定と合わなかった」「近場での募集がなかった」「体調不良」など

2 作業従事日数別の人数



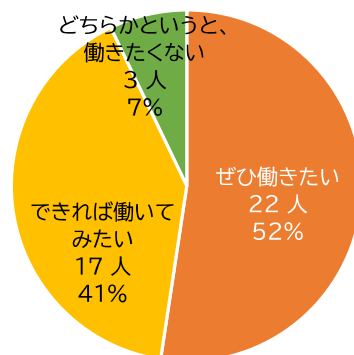
作業従事日数
のべ119日

※1時間以上働いた場合は1日としてカウント

- 実際に作業をした40人の作業従事日数は延べ119日
- 勤務時間外という制度上、土日の作業が大半だが、平日に2時間程従事するケースあり
- 生育が早まり収穫期間が短くなったため、申請よりも作業日数が少なくなり、1～2日の従事が多い

チェリサポ職員制度許可者へアンケート調査結果（回答数：42人／50人中）

問1 今後、チェリサポ制度を利用して働きたいか？



【ぜひ働きたい・できれば働いてみたい】

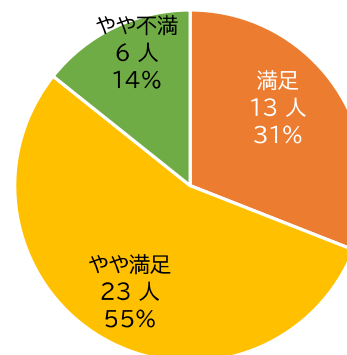
- ・ 農業の人手不足と高齢化を強く感じたから。
- ・ 現場を知ることができるよい機会となるから。
- ・ 見聞を広げることが、県職員としての政策立案に資する取組みになるから。

【どちらかという、働きたくない】

- ・ ボランティアとして手伝いたいから。
- ・ 体力的に厳しいから。

- アンケートを実施し、50人中42人から回答あり(8月18日現在)
- 回答者の93%が今後もチェリサポ制度を利用して働くことを希望

問2 チェリサポ制度に満足しているか？



【評価・感想等】

- ・ さくらんぼ農家の苦労や大変さを知ることができた。
- ・ 農業に従事することそのものが貴重な体験であった。
- ・ 農家の方から直接感謝されることで、働き甲斐があった。

【改善・意見等】

- ・ 6月初旬から作業に従事できるよう、営利企業従事許可申請の受付を早めに設定してほしい。
- ・ 労務管理上の制約(週8時間、月30時間まで等)が多く、農家の助けにはならないと感じる。
- ・ 申請手続きの簡素化が必要
- ・ 作業に従事するまでに簡単なマニュアルが欲しい。

- 制度に満足している者(「満足」と「やや満足」の計)は回答者の86%
- 不満点としては、上記「改善・意見等」のとおり